

普及啓発

平成29年度腎疾患対策国家予算について

計 1 億円

○ 腎疾患対策の推進

慢性腎臓病（ＣＫＤ）に関する診断・治療法の研究開発を推進する。
また、都道府県において、ＣＫＤに関する連絡協議会の設置、研修の
実施、正しい知識の普及啓発等を行う。

・慢性腎臓病（CKD）特別対策事業 10百万円

CKD対策を推進するため、都道府県において連絡協議会の設置、研修の実施、正しい知識の普及啓発等を実施する。

(補助先) 都道府県、政令指定都市、中核市

平成28年度は36自治体で実施

(補助率) 1 / 2

- 腎疾患対策費 3百万円

我が国における腎疾患患者は、年々増加傾向にあり、新規透析導入患者等腎疾患患者の重症化を早期に防止することが急務となっていることから、腎疾患に関するシンポジウム等開催し、広く国民に対して、重症化予防等に関する情報提供を呼びかける等正しい知識の普及啓発を行う。

・腎疾患実用化研究事業（AMED） 87百万円

腎機能異常の早期発見・早期治療により重症化を予防し、新規透析導入患者数を減少させるため、エビデンスに基づくガイドラインの作成・更新、病態の解明及び治療法開発に係る研究を行う。



「慢性腎臓病（CKD）特別対策事業」（平成21年度より実施）

【概要】

地域における講演会等の開催や医療関係者を対象とした研修等を実施することにより、広くCKDに関する正しい知識の普及、CKD対策に必要な人材の育成等を図る。

【実施主体】 都道府県

【実施事業】

- ① 患者等一般向けの講演会等の開催
- ② 病院や診療所等の医療関係者を対象とした研修の実施
- ③ CKD診療に関わる医療機関情報の収集と提供

【実績など】

平成21年度は 9自治体で実施。

平成22年度は17自治体で実施。

平成23年度は24自治体で実施。

平成24年度は28自治体で実施。

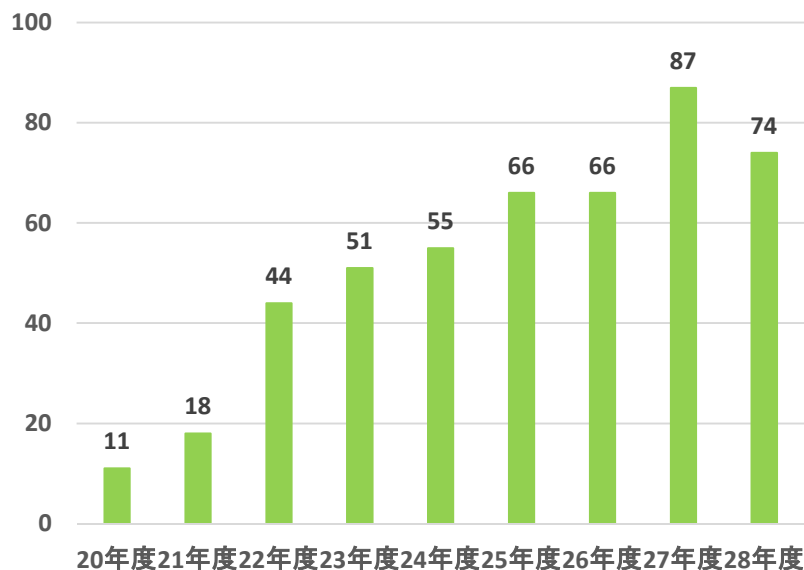
平成25～26年度は32自治体で実施。

平成27年度以降は36自治体で実施。

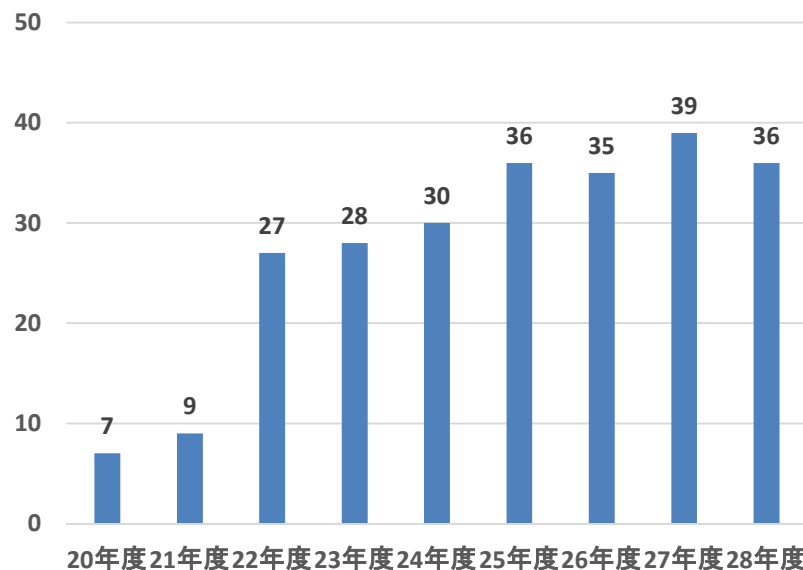
一般市民に向けた腎疾患啓発活動実績

日本慢性腎臓病対策協議会と連携した慢性腎臓病(CKD)啓発イベント

CKD啓発イベント数



CKD啓発イベント実施都道府県数



腎疾患啓発イベント数と実施される都道府県数は増加したが、まだイベントが行われない都道府県もある。

大阪慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI)について

大阪府慢性腎臓病対策協議会（O-CKDI）は、大阪府における慢性腎臓病（CKD）啓発を進めたいと考え、腎臓専門医が集まり発足させた組織です。

【私たちの思い】

CKD対策への支援を行うことで大阪府民の健康寿命に寄与したい。



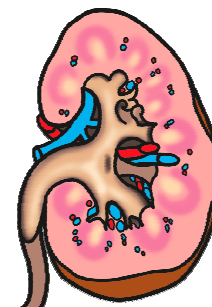
大阪府に在住するすべての方々へのCKDの疾患啓発を行い、早期発見・早期治療の更なる浸透を目指し腎臓病の重症化予防に取り組みます。

《3つの見える化の支援を考える》



- 府民の皆様から医療者のCKD対策が見える
- かかりつけ医から専門医のCKD対策が見える
- 行政・保健師とCKD対策の連携が見える

具体的達成イメージ・・・★健診受診率の向上
★医療費適正化の支援
★透析導入の遅延



大阪府トップ > ビビッとネットトップ > 催し・募集のご案内 > あなたの腎臓、気にしたことはありますか? 「世界腎臓デーキャンペーン」を開催します。

[はじめての方へ](#) | [サイトマップ](#)

催し・講座・募集のご案内

あなたの腎臓、気にしたことはありますか? 「世界腎臓デーキャンペーン」を開催します。

あなたの腎臓、
気にしたことはありますか?

毎年3月第2木曜日は「世界腎臓デー」

慢性腎臓病“CKD”
啓発キャンペーン

2017年3月11日(土)12時~16時00分
大阪駅前ディアモール大阪地下1階



【ミニレクチャー&健康相談】

12:30~13:00 ①慢性腎臓病（CKD）って何ですか?
13:20~13:50 ②ドキッ…尿検査で引っかかったら?
14:10~14:40 ③慢性腎臓病（CKD）予防と治療について
15:00~15:30 ④腎臓にやさしいお食事ガイド

参加
費
無
料
申
込
み
不
要

【レクチャー講師】

①大阪赤十字病院	菅原 照 先生
②大阪市立総合医療センター	小西啓夫 先生
③住友病院	阪口勝彦 先生
④北野病院	金田恵美 先生

腎臓のこと、気軽に
相談してください。



共催:大阪慢性腎臓病対策協議会/中外製薬株式会社
後援:日本慢性腎臓病対策協議会/NPO法人腎臓サポート協会
大阪府内科医会/大阪府医師会/大阪府/大阪市

毎年3月第2木曜日は、

『世界腎臓DAY』です。

本年は3月11日(土)に、
ディアモール大阪にてイベントを行います。

- ・街頭キャンペーン
- ・専門医によるミニレクチャー
- ・健康相談など



9 March 2017

www.worldkidneyday.org



北河内 腎臓病フォーラム

(3rd Announcement)

日時：2017年7月15日（土）16時～18時

場所：ホテル・アゴラ大阪守口4F 白鳳
大阪府守口市河原町10-5

TEL：06-6994-1111



謹啓

時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度下記内容にて北河内二次医療圏を対象に腎臓病フォーラムを開催させていただきます運びとなりました。先生方におかれましてはご多忙とは存じますが、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

敬具

【Opening remarks】16時00分～16時10分

関西医科大学香里病院 血液浄化療法部 病院教授 高橋延行 先生

【一般講演】16時10分～17時00分

座長：医療法人 協仁会 小松病院 総院長 一番ヶ瀬 明 先生

＜Ⅰ＞ 『富田林市国民健康保険糖尿病性腎症重症化予防プログラム』
富田林市 健康推進部 保険年金課 保健事業係長 中野葉子 様

＜Ⅱ＞ 『糖尿病の薬物治療における調剤薬局の取り組み』
一般社団法人 寝屋川市薬剤師会 常任理事 カトウ薬局 加藤克彦 先生

【特別講演】17時00分～18時00分

座長：関西医科大学香里病院 血液浄化療法部 病院教授 高橋延行 先生

「有効なCKD病診連携を再考する」
-かかりつけ医、専門医両者の立場を経験して-

八田内科医院 院長・理事長
近江八幡市立総合医療センター 腎センター顧問
八田 告 先生

日本医師会生涯教育単位 2単位 取得予定

共催：大阪慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI) 中外製薬株式会社

後援：日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI) 交野市医師会
門真市医師会 大東・四條畷医師会 寝屋川市医師会
枚方市医師会 守口市医師会 大阪府

世話人
＋
行政
(大阪府)
＋
行政
(富田林市)
＋
各医師会
＋
薬剤師会

Quality

参加費は
無料
申し込み不要

市民公開講座

定員最大
300名
先着順

(案) 慢性腎臓病(CKD)を予防しよう ～健康寿命の延伸のために～

日時：2017年 8月26日(土)
14:00～16:00

場所：高槻市生涯学習センター 多目的ホール
大阪府高槻市桃園町2-1

司会 大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室
教授 東 治人 先生

【講演1】14:00-14:15

「健康に過ごすために～健診受診の重要性と「おとな適塩プロジェクト」～」
高槻市健康づくり推進課 近藤康子先生

【講演2】14:15-14:45

「今日から作れる健康食～減塩食について～」
三康病院 管理栄養士 田中春日先生

【講演3】14:45-15:30

「腎臓を大切にするために、腎臓病について勉強しよう！」
高槻病院 腎臓内科 主任部長 高橋利和先生

【質問コーナー】15:30-16:00

「慢性腎臓病Q&A：市民の皆さんの疑問にお答えします」

大阪医科大学 森 龍彦 先生
高槻病院 高橋利和 先生
大阪医科大学 平野 一 先生
大阪医科大学病院 井上看護師
三康病院 磯川看護師、田中管理栄養士

3F第2会議室にて

健康相談コーナーもあります。

血圧、体高、体脂肪率測定など

〇〇医師

〇〇看護師、〇〇栄養士

共催 大阪慢性腎臓病対策協議会O-CKDI/高槻地区CKDネットワーク/中外製薬株式会社

後援：大阪府(申請中)/高槻市/高槻市医師会

日本慢性腎臓病対策協議会J-CKDI/NPO法人腎臓サポート協会/公益財団法人日本腎臓財団(申請中)

問い合わせ先：中外製薬株式会社 大阪支店 06-6350-6355(土・祝日除く平日9:00～17:30)

世話人
＋
行政
(大阪府)
＋
行政
(高槻市)
＋
高槻市医師会
＋
栄養士・看護師

Quality

熊本市における普及啓発活動の例

① 啓発 ・啓発媒体、各種イベント、講演会、HPなど啓発



バスカード



競輪場でのイベント



動物園でのイベント

② 特定健診受診率向上への取り組み

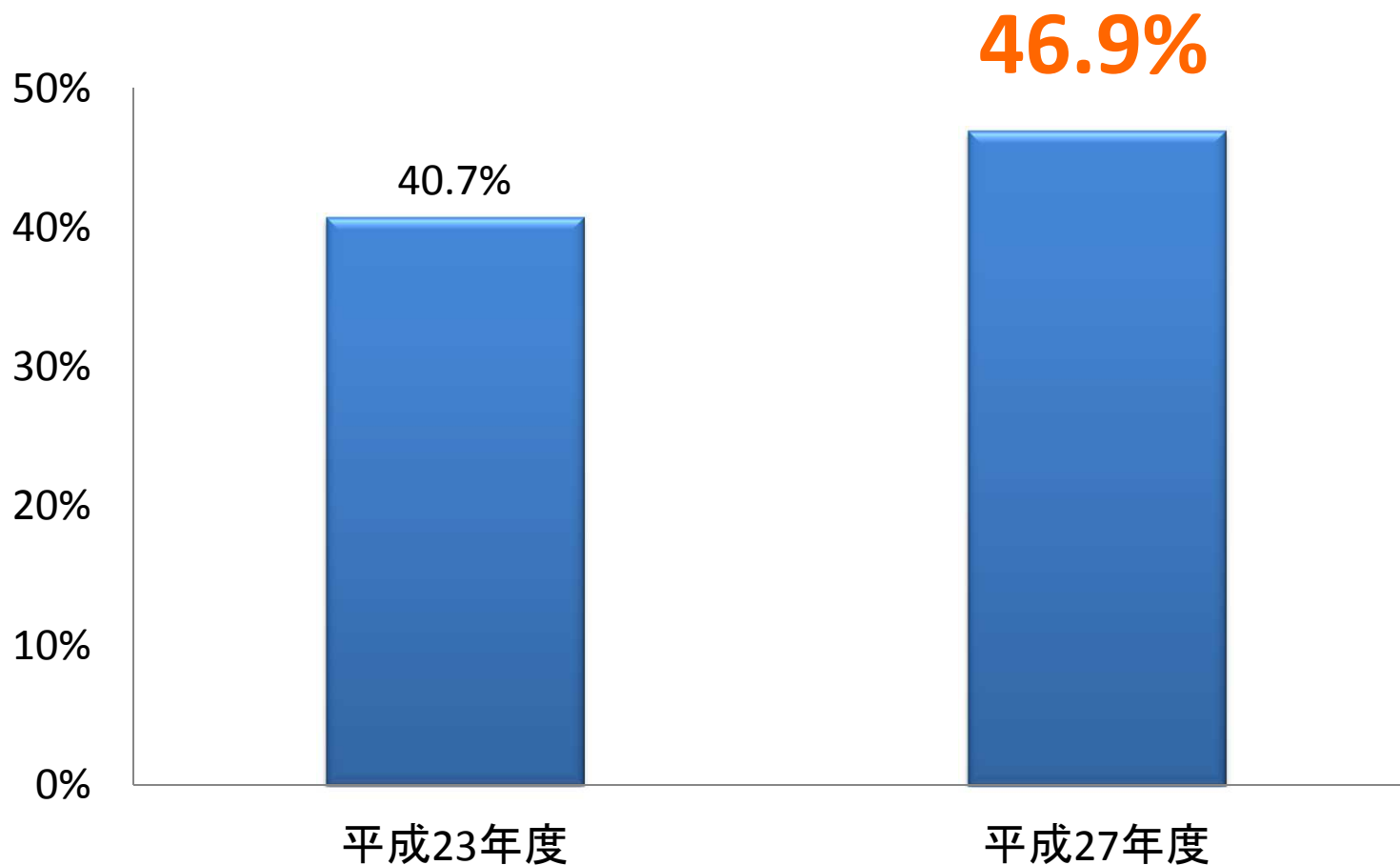
- ・特定健診実施機関からの未受診者への**受診勧奨**（国保実績：約51万件）
- ・国保特定健診受診案内様式変更（腎機能注意書追加）

③ 腎機能評価のための**eGFR値算出促進**

- ・特定健診の個人結果通知にeGFR値を記載する旨、各衛生検査所への働きかけ
(8箇所中8箇所) 9

■ 啓発

CKDの認知度



「普及啓発」の現状のまとめ

- ①地域により差はあるものの、実施件数は増加していると推測されるが、全体像は把握されていない。
- ②市民やメディカルスタッフを含む医療関係者だけでなく、行政への普及も進みつつある。
- ③開催場所、対象者、活動内容等は主催者の判断に任されているケースが多い。

「普及啓発」の課題

- ① 好事例をさらに広げる必要がある。
- ② 地域の実情に応じて、より効果的・効率的な普及啓発活動が必要。
- ③ 対象に応じた普及啓発内容の指針が存在しない。
- ④ 活動の効果の評価がなされていない。